みがく　かがやく　本小っ子

第８号
五島市立本山小学校通信
令和６年７月１２日
文責　：　境目　直行

教育週間へのご協力ありがとうございました！

〈校長講話から〉

校長講話では、この世にたった一つしかないかけがえのない命を、輝かせて生きていくために気をつけてほしいこととして、以下の４つをお願いしました。

①思うこと、感じることは自由であること
②一人ひとりの感じ方には違いがあること
③反省する心と許し合う心を大切にすること
④困ったときは周りの人に相談すること

本小っ子の皆さんの真剣な眼差しに感動し、思わず時間をオーバーしてしまいました。（時間を守ることはとても大切なことです。うまくできませんでした。ごめんなさい。反省しています。）

もしかすると本小っ子の中には、本題よりも私の失敗談（失敗だらけなのです…）が気になってしまった人がいたかもしれません。

【失敗談】

小１の頃、祖母にわがままを言って怒られた話。

「わがまま」とは好きなアイスクリームが食べられず、祖母に文句をいってしまった。

（いったい、どんなアイスなのだろう？？）

教育週間には校長講話の他に、授業参観や懇談会、第１回学校支援会議もありました。

授業参観では、各学年で道徳の授業を参観していただきました。道徳は題材を通して、大切にしなければならない思いや考え方に気付いたり、知ったり、深めたりする学習です。一つの出来事から感じとる心は人それぞれです。お互いの思いや考えを交流させ、深めあい、これからの生活にいかしてほしいと思います。

懇談会では、メディア（ＳＮＳ含む）との関わりについて、多くの学年で話があったことと思います。

便利な道具も使い方を間違えると凶器になります。子ども達だけしか知らない、大人からは見えない世界があります。大変難しいことですが、自分で自分の心をコントロールすること（善悪の判断をすること、我慢すること）を早い段階から意識して身につけさせていかなければならないと感じています。

学校支援会議では、委員の皆様から子ども達の地域での様子について、環境づくりについて、統合後の学校生活の様子について、意見を伺うことができました。

本小っ子の健やかな成長に対する願いを優しい眼差しや温かい言葉から感じることができました。

他にも、家庭読書の取組、望ましい生活習慣づくりに向けた取組が実施されました。

保護者の皆様、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

これからも「みがく　かがやく　本小っ子」を育てるため、連携・協力のほど、よろしくお願いいたします。

【つぶやき】

新紙幣が発行された。実物はまだ手元にないが、実際に使用するときは違和感を覚えることだろう。

振り返ってみると、五百円玉が発行されたときには大きな違和感があった。それまでは五百円札（岩倉具視だったような）を使用していたこともあり、五百円の価値が低くなったようにも感じてしまった。札と硬貨では重みが違うと感じていた。

実際にお年玉への影響はあったらしい。確かにお年玉袋には札が似合う気がする。もし、現在も五百円札があるとしたら大人の財布事情も改善されたのに…。

ところで、これまでの日本の紙幣の中で肖像画に一番多く使われた人は「聖徳太子（厩戸皇子）」だそうだ。たしか、子どものころは五千円も一万円も聖徳太子だった。

渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎、紙幣の肖像画に選ばれる人は多くの功績を挙げた人である。ほかにも調べてみるとある人が見つかった。

昭和時代の一円札に「二宮尊徳」を見つけた。本小っ子を応援する二宮像（二宮金次郎）の成人名である。急に親近感がわいてきた。

「どんなことを成し遂げた人なのだろう」自由研究にいかが？